

令和8年度活動計画

令和8年4月1日から令和9年3月31日

特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会

1 活動の方針

令和7年度は事務局移転の年でしたが、倉庫の撤去等、今年度にずれ込んでいるものがあります。また、印刷機に続き複合機も継続使用ができなくなり、更新せざるを得ない状況となりました。昨年度に勝る経常収益の回復を目指した協会経営を図らなければなりません。

活動において、福島県では「チャレンジふくしま県民運動」「健康長寿ふくしま会議」等により、健康長寿日本一を目指した活動が続いており、徐々に成果を上げつつあります。高齢者から子どもまでの健康づくり、体力づくり、そして心の元気をつくることはレクリエーション運動の基軸でもあることから、当協会のミッションについて、より積極的な活動を進めてまいります。

具体的には「スポーツ・レクリエーション」の推進に向け、「健康スポーツ」「レクリエーションスポーツ」を前面に出して、第46回福島県レクリエーション大会となる「ふくしまレクリエーションフェスタ2026」を、福島市を中心に、県内全域で開催します。また、東日本大震災と原発事故により被災された県民に対する事業として、心のケアを含む、身体面、情緒面におけるレクリエーション支援を行う「笑顔 Again！ 応援隊」の活動を継続してまいります。

「学校部活動の地域移行」も視野に入れた子どもにかかわる事業については、当協会の現状における可能性も視野に、若手で組織する「協力者会議」に今後の方向性をゆだねてまいります。ただし、本事業は当協会が掲げる3つのミッションの一つでもあるため、今後は、後継事業実施の可能性を探り、新たな支援制度を探してまいります。また、若手人材の育成を意識した「ユーストレーニング」は継続します。

2 活動の計画

令和8年度（2026年度）計画事業一覧

特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会

1 事業

大項目の事業（定款第5条）		開催期日等	備考			
中項目の事業						
小項目の事業						
1 レクリエーションの普及・奨励事業						
1 県民スポーツ・レクリエーション講座等開催事業						
1 あそびの素材市場開催事業						
1 脳トレとレクリエーション コグニサイズ等の認知症予防・改善、脳トレにつながるレクリエーション活動を広く紹介する。 評価基準： 参加者20名以上、以降の講師派遣につながる	1月31日	福島市				
2 マンカラ教室 世界標準のボードゲームとしてのマンカラを普及できる普及員を拡大し、マンカラの売り上げに貢献できるようにする 評価基準： 教室参加者数 20名以上、新規資格登録者数 5名以上	3月6日	福島市				
2 レクリエーションセミナー開催事業						
1 コミュニケーションワーク研修会 レクリエーション活動をコミュニケーションワークととらえ、それを活用できるレクリエーション指導者を拡大する 評価基準： 参加者数 20名以上	10月17日	福島市				
2 グループワーク・トレーニングセミナー（日曜日開催） グループワーク・トレーニング（GWT）の周知・拡大を図り、外部からの人材養成事業を確保する 評価基準： 参加者数 10名以上	8月2日	福島市				
3 ホスピタリティワークショップ（土曜日開催） レクリエーション支援におけるホスピタリティについての学びを掘り下げる 評価基準： 参加者数 10名以上	12月12日	福島市				
3 その他の県民レクリエーション講座開催事業						
2 健康スポーツ・レクリエーションスポーツ普及推進事業						
1 健康スポーツ活動普及事業						
1 レクリエーションスポーツ市場（toto助成日レク委託事業） 日本協会が進める健康スポーツ「ラダーゲッター」と「ニチレクボール」の普及を図る 評価基準： 教室参加者数 20名以上、新規資格登録者数 5名以上	8月30日	福島市				
2 チャレンジ・ザ・ゲーム教室 遊びが運動になる、運動が遊びになるチャレンジ・ザ・ゲームを様々な場面で活用できる普及員を拡大する 評価基準： 教室参加者数 20名以上、新規資格登録者数 10名以上	9月26日	郡山市				
2 子どもの体力向上事業 助成事業を検索しながら、内容について検討する。	通年	県内各地				
3 健康寿命延伸のための健康スポレクひろば開催支援事業（toto助成日レク委託事業） 県内の老人クラブにはたらきかけながら、健康寿命の延伸につながる「健康スポレクひろば」を実施する 評価基準： 受託件数 2件以上	通年	県内各地				
4 その他の健康スポーツ普及推進事業						
3 音楽レクリエーション普及推進事業						
4 全国一斉あそびの日支援事業 日本レクリエーション協会が進める全国一斉あそびの日キャンペーンに賛同し、参加事業を拡大する。 評価基準： 参加事業 30件以上				9/19 ～11/23	県内各地	
5 チャレンジふくしま県民運動推進事業 福島県が進めるチャレンジ福島県民運動に賛同し、参加事業を拡大する。 評価基準： 参加事業 30件以上				通年	県内各地	

大項目の事業（定款第5条）		開催期日等	備考
中項目の事業			
小項目の事業			
6	健康長寿ふくしま推進事業 福島県が進める健康長寿ふくしま推進事業に賛同し、 担当部署のニーズに合わせた活動を展開する 評価基準： 会議等への参加協力	通年	県内各地
7	レクリエーション普及振興功労者等顕彰事業 各種表彰事業へ該当する者を推薦する 評価基準： 下記1における表彰実施と2、3への推薦	適時	
	1 福島県レクリエーション協会会長表彰事業	12月5日	福島市
	2 日本レクリエーション協会理事長表彰推薦事業	11月21日	熊本県
	3 文部科学省生涯スポーツ振興功労者推薦事業	10月12日	東京都
	4 その他の顕彰事業		
8	その他の普及・奨励事業		
2 レクリエーションに関する各種大会等の開催事業			
1	第46回福島県レクリエーション大会開催事業 第46回福島県レクリエーション大会をふくしまレクリエーションフェスタ2026 （福島県スポーツ振興基金助成事業）として開催する 評価基準： 関係事業を含めた参加者数 延3,000人以上	9月～11月 12月5日（土）	福島市ほか 県内全域 福島市
2	第15回マンカラ交流選手権大会開催事業 世界標準のボードゲームであるマンカラの普及を図る 評価基準： 小・中学生の参加者数 30名以上、 成人の参加者数 20名以上	3月6日	福島市
3	第15回ラダーゲッター交流選手権大会開催事業 レクリエーションスポーツ市場の中で開催 評価基準： 参加者数 20名以上	8月30日	福島市
4	第1回ニチレクボール交流選手権大会開催事業 レクリエーションスポーツ市場の中で開催 評価基準： 参加者数 20名以上	8月30日	福島市
5	うつくしまふくしま。健康福祉祭 「すこやか福島ねんりんピック『ウォークラリー交流大会』」開催事業 福島県老人クラブ連合会と連携し、ウォークラリー大会を開催する 評価基準： 参加 10チーム以上	5月24日	福島市
6	スポレクEXPO～健康スポーツ・フェスティバル開催事業（toto助成日レク委託事業） 日本レクリエーション協会が実施するスポレクEXPOに賛同し、事業を実施する 評価基準： 参加者数 延500人以上	10月12日	福島市
7	その他の大会開催事業		
3 レクリエーションに関する人材の養成・資格審査・登録事業			
1	レクリエーション・アカデミー2026開催事業（福島県スポーツ振興基金助成事業） 日本レクリエーション協会が認定し、当協会の指導者会員となる レクリエーション・インストラクターを養成する 評価基準： 参加者数 20名以上	6月28日 ～9月27日	いわき市
2	スポレク・アカデミー2026開催事業（福島県スポーツ振興基金助成申請） 日本レクリエーション協会が認定し、当協会の指導者会員となる スポーツ・レクリエーション指導者を養成する 評価基準： 参加者数 20名以上	10月25日 ～12月20日	福島市
3	レクリエーション・サポーター養成セミナー開催および講習会認定促進事業 日本レクリエーション協会が認定するレクリエーション・サポーターを育成する 講習会を開催し、レクリエーション指導者への入り口を拡大するとともに、 県内で開催される各種講習会の認定を進める 評価基準： 講習会の開催 1件以上、講習会の認定 3件以上 サポーター登録者 10名以上	通年	県内全域
4	レク・インストラクタースキルアップガイダンス開催事業 日本レクリエーション協会認定資格を有するレク・インストラクターが、 可能なスキルアップに挑戦できるよう、スキルアップ制度のあらましと、 学習内容について解説し、実力の底上げを図る 評価基準： 参加者数 10名以上	4月29日	福島市

大項目の事業（定款第5条）		開催期日等	備考
中項目の事業			
小項目の事業			
5	レクリエーション有資格者研修会開催事業（土曜日開催） 日本レクリエーション協会認定資格を有する指導者に対しそのスキルアップを図るための研修会を開催する 評価基準： 参加者数 20名以上	7月4日	福島市
6	講師トレーニング事業（日曜日開催） レクリエーション指導者養成事業における講師を養成するためのトレーニングを行い、レクリエーション指導者の実力を底上げする 評価基準： 参加者数 10名以上	6月7日	いわき市
7	レクリエーション有資格者資格審査・登録事業 レクリエーション・インストラクターおよび、スポーツ・レクリエーション指導者の新規登録を進める 評価基準： 一般養成における新規登録者 延30名以上	随時	福島市
8	ふくしまユーストレーニング2026（子どもゆめ基金助成事業申請中） 地域の子ども会や少年団体等、子どもの活動を支援する青年やJRC等のボランティアで活動する青年層に対して、必要な知識と技術を伝達するとともに、レクリエーションの魅力を伝え、将来のレクリエーション指導者を育てる。 評価基準： 参加者数 10名以上	6月20日 ～12月19日	須賀川市
9	その他の人材養成等事業		
4 レクリエーションに関する支援者・援助者の派遣事業			
1	講師等派遣事業費（人材派遣、収益事業） 外部からの講師派遣依頼に応じて、適切な講師・スタッフを派遣する 評価基準： 有料派遣件数 20件以上、50万円以上の収益	通年	県内各地
2	その他の人材派遣事業		
5 レクリエーションに関する組織の育成・強化事業			
1	地域レクリエーション協会支援事業 地域（会津地方）レクリエーション協会の設立を支援し、当協会の団体正会員として迎え入れるとともに、既存協会の活動を支援する。 評価基準： 新規地域レクリエーション協会の設立入会	通年	
2	新種目団体設立入会促進事業 新しい関係団体にはたらきかけ、当協会の団体正会員として迎え入れる 評価基準： 新規団体正会員の入会 1件以上	通年	
3	種目指導者養成講習会等支援事業 団体正会員が開催する、指導者・審判等を新規に養成講習会等への支援を行う 評価基準： 支援事業 1件以上	通年	
4	その他の組織育成・強化事業		
6 レクリエーションに関する調査・研究・啓発・宣伝事業			
1	レクリエーションふくしま発行事業 レクリエーション有資格者、および当協会に関連する機関・団体等に対して、イベント情報を主とした情報を発信し、事業参加者数を確保する 評価基準： 発信回数 3回以上	4月、7月、 10月	
2	ホームページ等更新事業 ホームページ、Facebook、Instagram、X（旧Twitter）、LINE、YouTube、TikTok等を活用、随時更新し、多くの県民に最新情報を発信する 評価基準： 毎月1回以上の更新	通年	
3	福島県レクリエーション協会将来計画検討協力者会議 若手有資格者を中心とした協力者会議を開催し、福島県レクリエーション協会の将来像を検討する 評価基準： 年間6回以上	通年	
4	その他の調査・研究・啓発・宣伝事業		
7 レクリエーションに関する諸団体との連携・調整・協力事業			
1	課程認定校連携支援事業 日本レクリエーション協会が指導者資格取得の課程を認定している専門学校に対して支援を行うとともに、新規課程認定校獲得のため、情報提供等を行う 評価基準： 各課程認定校に対し、年間1回以上の支援	通年	

大項目の事業（定款第5条）		開催期日等	備考
中項目の事業			
小項目の事業			
2	北海道・東北ブロック協議会派遣事業 北海道・東北ブロック協議会の会議に役職員を派遣する 評価基準： 1名以上の派遣	6月21日 ～6月22日	岩手県
3	全国運営代表者会議派遣事業 日本レクリエーション協会が開催する全国運営代表者会議に役職員を派遣する 評価基準： 1名以上の派遣	12月1日 ～12月2日	東京都
4	その他の連携等事業		
8 レクリエーションに関する用具・書籍等の斡旋貸与事業			
1	レクリエーションサービスセンター運営事業 日本レクリエーション協会のカタログ等を配布し、レクリエーション用具等の 物品販売販売（収益事業）を行う 評価基準： 50万円以上の収益	通年	
2	その他の斡旋貸与事業		
9 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			
1 震災復興支援事業			
1	笑顔Again! 応援隊派遣事業 （福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業助成申請） 福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業を活用し、東日本大震災による 避難者に対する支援活動として、復興団地におけるサロンの活動を支援する 評価基準： 支援件数 年間10回以上	通年	福島市 北中央 二本松市 石倉 田村市
2	その他の震災復興支援事業		
2	その他の事業		

2 管理

1	監査会	5月5日	福島市
2	総会	5月16日	福島市
3	理事会	6月13日 (7月1日) 10月24日 3月13日	福島市
4	一般管理	通年	
	青少年会館解体に伴う倉庫撤収事業	5月31日	
	事務機器更新事業（複合機更新）	6月 1日	
	その他の一般管理事業	通年	

3 活動計画上の重点施策

1 レクリエーション大会と普及振興

ふくしまレクリエーションフェスタとして開催している福島県レクリエーション大会は、団体正会員の成果発表の場、愛好者同士、また県民と愛好者との交流の場です。レクリエーション運動の普及には、活動愛好者の量的拡大は重要であり、大会をとおして多くの県民にレクリエーション活動の魅力を伝えることが必要です。

また、レクリエーション・スポーツ・健康スポーツ等を広く県民に普及するための事業としての講習会、セミナー等をより拡充し、レクリエーション活動の「認知度」を上げることに取り組みます。

2 人財育成の拡充

日本レクリエーション協会に登録する公認指導者数の確保は、財政面からも重要です。しかし今日、登録者数の減少に歯止めがかからない状況が続いており、日本レクリエーション協会においても、新たな制度、新たな養成方法を検討しています。

本県においては、レクリエーション・インストラクター、スポーツ・レクリエーション指導者の養成が行われておりますが、資格への入り口となる「レクリエーション・サポーター」や、スポーツ・レクリエーション活動に興味関心のあるボランティアの養成については、まだ工夫の余地があります。若者へのアピールも兼ねて、10代、20代の若者世代を獲得するための「ユーストレーニング」を本年度も継続して、有資格者登録に結び付く事業としてまいります。

また、ようやく機能し始めた若手有資格者による協力者会議により、将来ビジョンを検討しながら若手指導者の底上げを行います。

3 公認指導者、会員に対するサービス

日本レクリエーション協会からの普及推進事業委託費は、その50%を有資格者へのサービスに使うことを求められています。あわせて、団体正会員の確保、会員数の維持のため、広報、各種情報提供、物品等の斡旋などのサービスを、これまでどおり実施しながら、効果の薄い事業を切り捨て、新たなサービスを検討し、時代に合ったレクリエーション運動を展開できる事業体としての生まれ変わりを図ってまいります。